

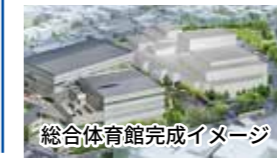
数字で見る沼津のスポーツ。たくさんの市民の皆さんがスポーツを楽しんでいます！

沼津市スポーツ協会加盟団体数

野球やサッカー、バレー、バスケなどの球技や剣道、柔道、相撲などの武道、陸上競技、セーリングなどの競技団体が加盟しています。



スポーツ施設利用者数



市民体育館をはじめとした、市営体育施設の利用者延べ人数（令和元年度）

沼津ゆかりのオリ・パラメダリスト



1932年ロサンゼルス五輪以降（ウイズスポーツ課調べ）

スポーツを愛する すべての人を愛するまち

市民の皆さんがスポーツを「する」、「みる」、「支える」ことで存分に楽しめる環境の整った沼津は、「ウイズスポーツ」に最適な環境と言っても過言ではありません。

市では、市民の皆さんに、もっとスポーツを楽しんでいただくため、自然環境のさらなる活用や、スポーツ関連施設の拡充に取り組んでいきます。

サッカーが好きな人がフエンシングに興味を持ち、ダイビングを趣味としている人がハイキングも楽しむ。種目の枠を超えて新たな人と人の繋がりが生まれ、それを見て皆が楽しみ、支え合いが広がっていく。この循環を生み出すことで、沼津のまち全体にスポーツの機運が高まっていきます。

市民の皆さんがスポーツとともに生活できる環境をつくりあげていくことで、沼津はこれまで以上に暮らしやすくなります。

スポーツを愛する すべての人に愛されるまち

スポーツが私たち市民の生活の一部となることで、健康寿命の延伸にも繋がります。沼津は市民一人ひとりがいつまでも輝くまち、活気溢れるまちとなります。

市民の活気が溢れるまちは、市外、県外、そして世界から見ても魅力的なまちとなり、様々な人を呼び込み、新たな交流が生まれていくことでしょう。

「誇り高い、元気なまち沼津の実現のため、市では、今後も市民の皆さんと一緒に」スポーツを通じて、健康増進や産業振興、シティプロモーションに取り組んでいきます。

◎ウイズスポーツ課
☎055・934・4875

沼津市ウイズスポーツ開幕!!!
WITH SPORTS

アスリートインタビュー

今シーズンよりアスルクラロ沼津の背番号8を背負う鈴木拳士郎選手。幼稚園時代にボールを蹴り始め、愛鷹サッカー少年団に所属。アスルの下部組織から高校大学とキャリアを重ね、昨シーズンにトップチームの選手としてアスルに加入。アスリートが「地元」でプレーすることの意義について話を伺いました。

広場とグラウンドを 駆け回った少年時代

小さい頃は外で遊ぶばかりでした。近所の友だちを集めて、近くの公園や広場でサッカーしたり、野球をしたり、鬼ごっこをしたり。愛鷹地区は自然がいっぱいで、外で遊ぶには困りませんでした(笑)。陽が落ちるまで走り回っていたのをよく覚えてます。

本格的にサッカーをするようになったのは少年団に入ってから。仲間と一生懸命ボールを追いかけた日々が懐かしいです。愛鷹小・愛鷹中の同級生と一緒に遊んでいた親友の鈴木準弥くん(現ブラウブリッツ秋田)もアスルの下部組織からJリーガーになって、いい刺激になっています。振り返れば、子供の頃からの積み重ねが今に繋がっているんだと思います。

当時、今沢小で開催された、小野伸二さん(現コンサドーレ札幌)が直接指導してくれるサッカー教室に参加する



地元でプレーすることの醍醐味

アスリートはプレーで魅せるのが一番の務めだと思っています。生まれ育ったまちでプレーできるのは選手冥利に尽きます。沼津の皆さんやアスルファンの皆さんの応援はマジで力になります。家族や幼なじみに自分のプレーを画面越しではなくスタジアムで見てもらえるというのは、本当に嬉しいし、心強いです。

僕たちのプレーをきっかけに、スポーツを始めよう、なんて子供が増えたらさらに嬉しいですね。当たり前ですけど、試合に勝てば皆が喜んでくれるから、なんとしても勝利を届けたい。今シーズンはゴールにもこだわっていきたくです。

ホーム沼津って やっぱり特別。

さらに言えば、ユニフォームを着ていないときでも、例えばお気に入りの飲食店やお世話になっている接骨院、沼津のいいところをSNSで積極的に発信することも、微力ながら沼津に対する恩返しだと考えています。

高校時代から沼津を出て、関西の大学、香川県のチームといろいろな場所に行きましたが、海も山もある沼津は、本当にいいところだと改めて実感しています。地元でサッカーができる喜びを噛み締めながら、全力でプレーするので、ぜひスタジアムに足を運んで下さい。これからも応援よろしくお願いします！

